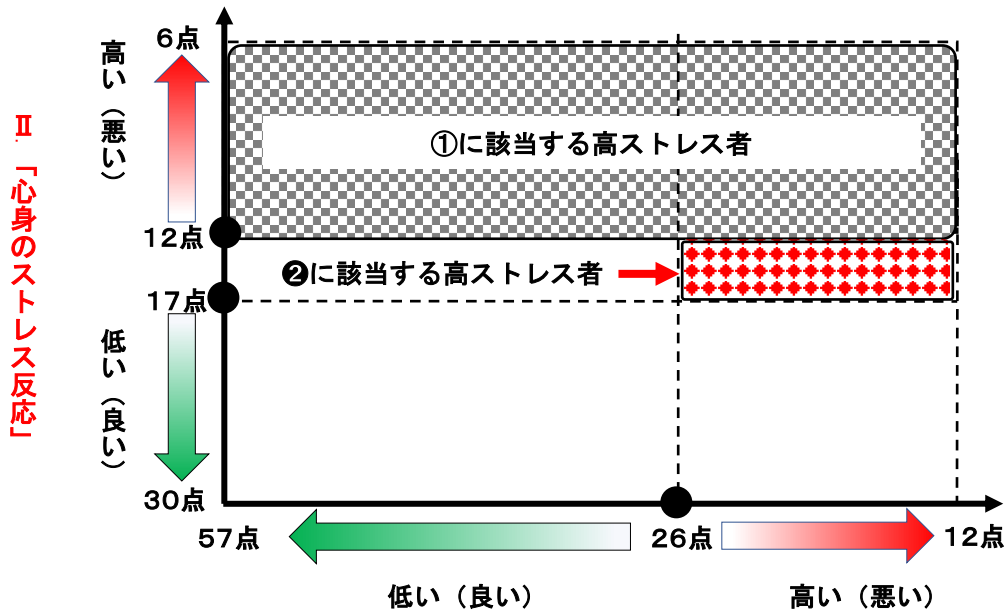


高ストレス者を選定する基本

この方法は、調査票の各質問項目への回答の点数を、素点換算表により尺度ごとの5段階評価(ストレスの高い方が1点、低い方が5点)に換算し、その評価点の合計(または平均)を基準に用います。分析ツールにより個人プロフィールとの関連がわかりやすく、尺度ごとの評価が考慮された解析方法です。

【概念図】



I. 「仕事のストレス要因」 + III. 「周囲のサポート」

①に該当する高ストレス者

II. 「心身のストレス反応」 (29項目)の6尺度

1. 活気、2. イライラ感、3. 不安感、4. 抑うつ感、5. 疲労感、6. 身体愁訴

について、素点換算表による5段階評価(ストレスの高い方が1点、低い方が5点)に換算して6尺度の合計点が12点以下である者を高ストレス者とする。

②に該当する高ストレス者

I. 「仕事のストレス要因」 (17項目)の9尺度

1. 仕事の量、2. 仕事の質、3. 身体的負担度等 及び

III. 「周囲のサポート」 (9目)の3尺度

1. 上司からのサポート、2. 同僚からのサポート等

の合計、12尺度について素点換算表により5段階評価(ストレスの高い方が1点、低い方が5点)に換算し、12尺度の合計点が26点以下であって、かつ

II. 「心身のストレス反応」の6尺度の合計点が、17点以下である者を高ストレスとする。

よって、上記の方法で「高ストレス者」を要医師面接者候補とする。

※尚、ストレスの程度の評価方法および高ストレス者の選定方法・算出基準は改訂平成28年4月労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアル:厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課産業保健支援室内の<評価基準(その2)>で評価した例で示しています。